



国内番号計画のインストール

- 国内番号計画の概要（1 ページ）
- 国内番号計画の前提条件（1 ページ）
- 国内番号計画インストールのタスク フロー（2 ページ）

国内番号計画の概要

Unified Communications Manager では、デフォルトで北米電話番号計画 (NANP) を提供しています。設定されているダイヤル プラン要件が異なる国の場合、シスコの国際ダイヤル プランをインストールし、それを使用して、要件特有の一意の番号計画を作成できます。

番号計画には、数字破棄命令 (DDI) と、その番号計画に固有のタグが含まれています。これらの項目は、コール ルーティングを設定するときに、番号計画に適したルーティング ルールを作成するために使用できます。

この章では、国内番号計画をインストールする方法について説明します。国内番号計画の使用の詳細については、『*Unified Communications Manager Dial Plan Deployment Guide (Unified Communications Manager ダイヤル プラン導入ガイド)*』（<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>）を参照してください。

国内番号計画の前提条件

北米以外の国の国内番号計画をインストールする場合は、現在のリリース用の国際ダイヤル プランが含まれている Cisco Option Package (COP) ファイルをダウンロードします。COP ファイルは、IDP v.x の命名規則を使用し、シスコの Web サイトから入手できます。

- <https://software.cisco.com/download/navigator.html>

このファイルを、Unified Communications Manager がアクセスできる外部 FTP サーバまたは SFTP サーバに配置します。

国内番号計画インストールのタスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	COP ファイルのインストール（2 ページ）	オプション北米以外の国における番号計画をインストールするには、現在のリリース用の国際ダイヤルプランを含むシスコのオプションパッケージ（COP）ファイルをダウンロードします。
ステップ2	国内の番号計画のインストール（3 ページ）	クラスタ内のそれぞれの Unified Communications Manager ノードに国内の番号計画をインストールします。北米以外の国の国内番号計画をインストールする場合にのみ、次の手順を実行します。
ステップ3	CallManager サービスの再起動（4 ページ）	サービスを再起動すると変更が反映されます。

COP ファイルのインストール

国際ダイヤルプランを含むシスコのオプションパッケージ（COP）ファイルをインストールするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1** Unified Communications Manager のパブリッシャノードで、この手順を開始します。Cisco Unified Communications OS 管理で、[ソフトウェアアップグレード（Software Upgrades）] > [インストール（Install）] を選択します。
[Software Installation/Upgrade] ウィンドウが表示されます。
- ステップ2** [ソース（Source）] フィールドで、[リモートファイルシステム（Remote File System）] を選択します。
- ステップ3** [ソフトウェアのインストール/アップグレード（Software Installation/Upgrade）] ウィンドウで、フィールドを設定します。フィールドおよびその設定オプションの詳細については、「関連項目」を参照してください。
- ステップ4** [Next] をクリックします。
ウィンドウが更新され、使用可能なソフトウェアのオプションとアップグレードのリストが表示されます。

- ステップ 5** [オプション/アップグレード (Options/Upgrades)] ドロップダウンリストで、[DP COP] ファイルを選択して、[次へ (Next)] をクリックします。
[インストールファイル (Installation File)] ウィンドウが開き、FTP サーバからファイルをダウンロードします。ウィンドウにダウンロードの進捗が表示されます。
- ステップ 6** [Checksum] ウィンドウが表示されたら、そのチェックサムの値をダウンロードしたファイルのチェックサムの値と比較検証します。
- ステップ 7** [次へ (Next)] をクリックして、ソフトウェアアップグレードに進みます。
警告メッセージとして、インストールするために選択した DP COP ファイルが表示されます。
- ステップ 8** [Install (インストール)] をクリックします。
[インストール状況 (Install Status)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 9** [終了 (Finish)] をクリックします。
- ステップ 10** Unified Communications Manager サブスクリーバノードで、この手順を繰り返します。クラスタ内の全ノードに COP ファイルをインストールする必要があります。

関連トピック[COP ファイルインストールのフィールド \(3 ページ\)](#)**COP ファイルインストールのフィールド**

フィールド	説明
[ディレクトリ (Directory)]	COP ファイルが配置されているディレクトリを入力します。
リモート サーバ (Remote Server)	COP ファイルが配置されているサーバのホスト名または IP アドレスを入力します。
リモート ユーザ (Remote User)	リモート サーバのユーザ名を入力します。
リモート パスワード (Remote Password)	リモート サーバのパスワードを入力します。
[転送プロトコル (Transfer Protocol)]	リモート サーバと接続する場合に使用するプロトコルを選択します。

国内の番号計画のインストール

北米以外の国の国内番号計画をインストールする場合にのみ、次の手順を実行します。

クラスタ内のそれぞれの Unified Communications Manager ノードに国内の番号計画をインストールします。Unified Communications Manager publisher ノードから始めます。

CallManager サービスの再起動

手順

- ステップ1 Cisco Unified CM Administration で、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルプランインストーラ (Dial Plan Installer)] を選択します。
- ステップ2 検索条件を入力して [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ3 インストールするダイヤルプランのバージョンを [使用可能なバージョン (Available Version)] ドロップダウンリストから選択します。
- ステップ4 [Install (インストール)] をクリックします。
ステータスに、ダイヤルプランがインストールされたことが表示されます。
- ステップ5 クラスターのサブスクリーバノードごとにこの手順を繰り返します。

CallManager サービスの再起動

手順

- ステップ1 Cisco Unified Serviceability インターフェイスで、[ツール (Tools)] > [コントロールセンター - 機能サービス (Control Center - Feature Services)] を選択します。
- ステップ2 [サーバ (Servers)] ドロップダウンリストから、Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。
CM のサービス領域で、[サービス名 (Service Name)] 列の Cisco CallManager が表示されます。
- ステップ3 Cisco CallManager サービスに対応するラジオ ボタンをクリックします。
- ステップ4 [再起動 (Restart)] をクリックします。
サービスが再起動し、「サービスは正常に再起動しました (Service Successfully Restarted) 」というメッセージが表示されます。